



市議会だより

第83号

2024 (令和6) 年11月10日発行

令和6年9月定例会終わる

- 2 | こんなことが決まりました
- 6 | 決算審査
- 8 | 市政を問う
- 14 | 行政視察レポート



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

検索



▲演舞する「八次小中学校有志」の皆さん

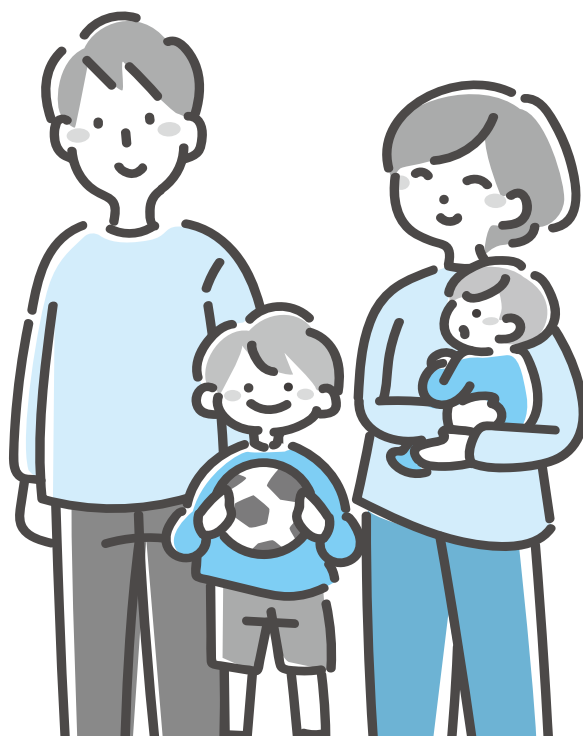
令和6年9月定例会では、 こんなことが 決まりました

9月定例会を8月30日（金）から9月26日（木）まで開催し、議案26件を可決、報告5件を承認、議案1件を継続審査としました。今回はその中から4つを紹介します。その他の議案等については、下記のQRコードからご覧になれます。

議案の内容は
こちら



補正予算は
こちら



継続 審査

議案第77号

三次市地域集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)

〈継続審査とした理由〉

条例案中、三次市八次集会所は、八次第6放課後児童クラブに係る今後の利活用との整合性を含めた地域への説明等について、引き続き審査が必要であるため。

※継続審査とは…会期中に議決されなかった議案などは、次の会期には引き継がれることなく、廃案となるが、例外的に本会議の議決によって、次期委員会で引き続き付託された議案などの審査を行うことを継続審査という。



八次集会所

議案第74号 三次市工場立地法地域準則条例(案)

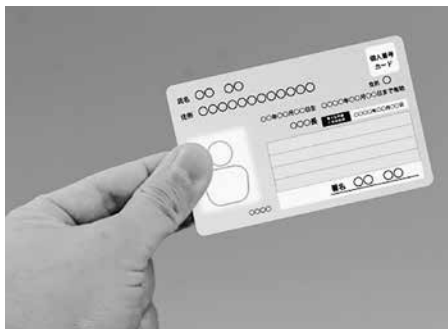
企業が設備投資しやすい環境整備の一環として、 緑地面積率等を緩和

工場立地法は工場立地が環境の保全を図りつつ、適正に行われるようにすることを目的に一定規模以上の工事等について、緑地面積等の敷地面積に対する割合がそれぞれに定められています。

今回準則条例を制定することで、企業が設備投資しやすい環境整備の一環として、国の定める範囲内で緑地面積率等の緩和を行おうとするものです。

議案第76号 三次市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例(案)

マイナンバーで照会できる情報を追加するため、 関係条例の一部を改正



こども医療費支給や、ひとり親家庭等医療費支給等の事務において、マイナンバーを用いた情報連携によって保険資格情報を照会することができるよう、照会できる情報に医療保険給付関係情報を追加するものです。

議案第78号 三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)

被保険者証の廃止に伴い、関係条例の 一部を改正

被保険者証の返還に応じない者に対する10万円以下の過料の規定から、被保険者証が廃止（現行の被保険者証は令和6年12月2日に廃止）となるため、「被保険者証の返還に応じない」場合を削除しようとするものです。



今定例会で審議した一般会計にかかる議案の中から
主な事業をご紹介します。

道路橋梁維持管理（除雪対策）

1億5千万円



積雪時における生活路線の通行を確保するため、市道・県道の除雪を行います。

みよし運動公園改修事業

〔あそびの王国遊具〕

200万円

あそびの王国の遊具改修に対する寄附金を活用し、老朽化した遊具の更新や修繕を行います。

〔陸上競技場出入口扉〕

1,334万6千円

陸上競技場メインスタンド出入口扉の開閉が困難な状態であるため、改修工事を行います。

保育所施設修繕等事業

150万円

県道から布野保育所駐車場へ入る市道が鋭角に接続しています。国道54号側から侵入する場合、対向車線に大きくはみ出ることになり危険であることから、侵入しやすいように改善します。



尾関山公園桜の保全活動等業務

90万円

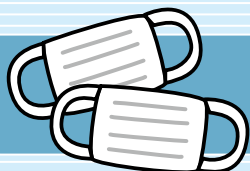
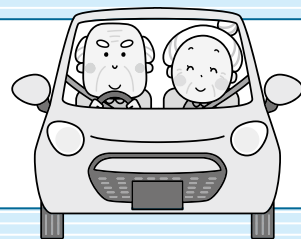


キリンビール株式会社の桜の保全活動等寄附金を活用した尾関山公園の桜保全活動事業を行い、美しい公園景観の創出をめざします。

三次いきいき安全ドライブ運動推進事業

63万円

高齢者等を対象に運転状況データを集約し、安全運転診断を行うための実証実験をします。



令和5年3月13日より、国のマスク着用に関する方針の変更に伴い、当市議会においてもマスクの着用は個人の判断に委ねることを基本としています。

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、9月6日、10日に各委員会を開催し、審査を行いました。

教育民生常任委員会

9月6日開催

【付託議案】

議案第78号 「三次市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）」ほか3議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

この度のマイナンバーカードの健康保険証利用については、市は保険者の立場からも、引き続き丁寧な制度説明を心掛け、市民の十分な理解が得られるよう努められたい。



執行部への質疑（教育民生常任委員会）

産業建設常任委員会

9月9日開催

【付託議案】

議案第74号 「三次市工場立地法地域準則条例（案）」ほか2議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第85号「指定管理者の指定について」は、市、指定管理者、地域の三者が連携を密にし、引き続き、利用者、地域の方々に喜んでいただける施設となることを期待している。

総務常任委員会

9月10日開催

【付託議案】

議案第75号 「三次市定住住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか2議案

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決



用途廃止される「中の郷住宅（作木町）」



君田地域農産物等活用型交流促進施設
（森の食彩館）



君田林産物等展示販売施設
（おはよう市・喫茶21番館）

指定管理となる施設

各委員長
報告の全文は
こちら



委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及びケーブルテレビでの再放送は行っておりません。



決算審査

令和5年度決算を認定

一般会計・特別会計など8会計を審査

【付託議案】

議案第86号「令和5年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」ほか

7議案

【審査結果】

議案第87号ほか6議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり認定
議案第86号 賛成多数により原案のとおり認定



令和5年度の
決算内容については
こちら

予算決算常任委員長報告

【決算認定に対する指摘及び意見】

総務分科会からは、高齢者運転免許自主返納支援事業について、引き続き、利用しやすい地域公共交通の検討を進めるとともに、現在、実施している事業の利用拡大等の検討が必要であるとの意見、三次市シティブロモーション戦略の見直しに当たっては、評価と検証を行う中で、事業の必要性等をよりわかりやすく表す視点が必要であること、限られた予算で効果を挙げていくために、ターゲットを細かく絞った働きかけや、話題性が生まれるような一点突破の取組の検討も必要であるとの意見が報告された。

教育民生分科会からは、学校給食調理場整備事業について、アレルギー対応をはじめ安心安全な学校区給食を提供する

ためには、当事者である子どもたちの声、現場で働いている栄養士や調理員等の声を聞きながら運営し、設備を活用したきめ細やかな調理場運営に今後も努めてほしい。また、継続費という手法により事業が完結した時点で、期待された効果が得られたのか検証が必要であるといった意見、医師育成奨学金貸付事業については、小・中学校といった早い段階から周知に取り組み、子どもたちの未来を後押しできるよう、事業の活用や進むことを期待するとの意見が報告された。

産業建設分科会からは、君田トエンティワン清算支援補助について、この事業を教訓として、第三セクター等の健全な経営が維持されるよう、市として、国の指針を参考に適切な関与に対する検討が必要であるとの意見が報告された。

【各分科会の自由討議テーマ】

■総務分科会

- シティブロモーション事業
- 高齢者運転免許自主返納支援事業

■教育民生分科会

- 学校給食調理場整備事業
- ネウボラDX事業
- 医師育成奨学金貸付事業

■産業建設分科会

- 君田トエンティワン清算支援事業
- （仮称）みよしアグリパーク整備事業



委員長報告をする藤岡委員長

◆各会計の決算状況

会 計 名		歳 入	歳 出	差引
一般会計		43,212,494,035	42,069,615,286	1,142,878,749
国民健康保険特別会計		5,290,177,239	5,305,459,201	△ 15,281,962
診療所特別会計		266,829,100	265,354,594	1,474,506
介護保険特別会計		6,855,899,881	6,728,394,314	127,505,567
後期高齢者医療特別会計		877,822,433	862,968,156	14,854,277
土地取得特別会計		38,481,115	38,481,115	0
病院事業会計	収益的収支	10,264,741,588	10,246,393,723	18,347,865
	資本的収支	859,992,000	1,632,241,303	
下水道事業会計	収益的収支	2,105,420,415	2,082,463,063	22,957,352
	資本的収支	1,140,169,300	1,716,940,644	

討 論

議案第86号「令和5年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」に対して討論がありました

反対討論の趣旨



宋戸議員

債務超過による破産状態で解散した（株）君田トエンティワンへの補助金は、その主旨から、何をもって公益上必要であるのか。何をもって地域活性化や産業振興となるのか甚だ疑問がある。さらには、経営不振、債務超過に陥った経営責任が何ら明確にされていない。また、第三セクターとしての行政の関与、役割が果たされてもいない。このような状況での予算執行は不適切。

賛成討論の趣旨



横光議員

君田温泉の早期再開のためには、（株）君田トエンティワンの清算を支援し、清算業務を円滑に進めることが必要であることから、（株）君田トエンティワンの剰余金を原資とする基金を活用した「君田トエンティワン清算支援補助金」、また老朽化した施設の改修のための「君田ふれあい施設等管理経費」についての予算が提案され、市議会において慎重に議論を重ね、この予算を認めたところでもある。これらの予算が後押しとなり、君田温泉が異例ともいえる1年以内の早期再開を果たしたものであり、今後の三次市の活性化に繋がるものと大いに期待している。



議案第86号は賛成多数により認定

9月定例会 審議結果（全員一致以外のもの） ○…賛成 ×…反対

区 分	会 派	三 輝 会						清 友 会				明日への風			会 派 未 来		公 明 党	真 正 会	日 本 共 産 党				
	結 果	小 田	横 光	弓 掛	藤 井	月 橋	國 重	細 美	穴 戸	保 実	山 村	重 信	山 田	掛 田	藤 岡	徳 岡	増 田	新 田	竹 田	中 原	片 岡	鈴 木	伊 藤
議案第86号 令和5年度三次市一般会計歳入歳出決算 認定について	可 決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議 長	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×



清友会

しげあき 大戸 稔

動画

質問
1

君田温泉元運営会社の清算は

負債整理が市の一般財源からの清算支援補助金1億1千万円余りを投入して行われたが、その後どのような経緯となり、経営責任はどう示され結了したのか。今後の第三セクターに対する市の関与で新たに検討していることがあるのか。

答弁
1

清算業務は円滑に行われた

児玉産業振興部長

清算支援補助金については総会終了後、実績報告書が提出され、交付確定している。清算支援をしたことにより、同社は破産することなく清算業務は円滑に行われたと考えている。また、清算の報酬を一部返還することで、経営責任の一端を取られたと認識をしている。

答弁
1

市の関与の在り方について検討していく

桑田総務部長

第三セクターの目的、事業内容についての検証、また市の関与の在り方について、今年度策定予定の「第5次三次市行財政改革推進計画」の中で検討していきたいと考えている。

質問
2

太陽光発電設備等の適正な設置の必要性は

この設置が土砂の流出や濁水の発生、景観への影響、反射光による人家への影響などの問題が懸念される。近隣住民などに説明も同意もなく進められていることへの規制条例などの対応が必要と考えるがいかがか。

答弁
2

環境配慮基準に準じて注意喚起を行っている

上谷市民部長

国のガイドラインに沿って県が策定した「広島県促進区域の設定に関する環境配慮基準」があり、市では、この環境配慮基準に準じて注意喚起を行っている。本市でできる裁量としては、広報紙やホームページ等で、そういったことを徹底していくことだと考えている。



君田町茂田に設置されている太陽光パネル



清友会

しげあき 重信 好範

動画

質問
1

地震災害の対策強化は

元旦に発生した能登半島地震の教訓を踏まえて全国の自治体では、これまでの避難計画や防災対策の見直し強化が行われている。本市において、この度の地震から何を学び、今後の地震災害等の対策にどのように生かしていくのか。

答弁
1

必要性を再認識している

山田危機管理監

この能登半島地震を踏まえた法改正、あるいは上位の防災計画の修正に合わせた地域防災計画の修正を行うとともに、防災計画に盛り込まれた内容、例えば公共施設や住宅の耐震化のさらなる促進、交通・生活インフラの基盤強化の重要性、備蓄や民間企業との連携による被災者の生活支援への備え、円滑な受援体制の確立などといった必要性を再認識したところである。

質問
2

トイレカーの早期の配備を

災害時に問題となるのがトイレである。トイレカーは被災地への災害派遣車両としても活用されており、全国の自治体で既に22台導入されている。市としても早期に配備すべきと考えるがいかがか。

答弁
2

市での単独の配備は考えていない

山田危機管理監

トイレカーの配備については、費用面から本市単独で保有するということは難しいと考えている。また、道路等が寸断された場合には、必要とする避難所に配備できないことも想定される。保有台数によっては配備箇所が限定されるということも考えられるため、市での単独の配備は考えていない。



南あわじ市が導入したトイレカー



明日への風

かけ た かつ ひこ
掛田 勝彦

動画



質問 1 今後の広報みよしの在り方を問う

広報紙は単なる情報の伝達手段ではない。市民から広報紙への反応があれば、まちの魅力を伝える絶好のチャンスだと捉え、市民の反応を積極的にとりに行くべきだと考えるが取組や課題について伺う。

答弁 1 わかりやすく確かな情報を届けていく

笹岡経営企画部長

イベント情報がわかりやすい等の意見のほか、文字が小さい、横文字が多く内容が理解しにくいといった意見もあり、紙面づくりの参考にしている。今後も広報アンケート等を通じて、市民の意見に耳を傾けて、わかりやすく確かな情報を届け、三次に対する誇りと愛着を醸成する広報紙となるように取り組んでいく。



人と人、地域と人を結ぶ情報誌

質問 2 人口減少対策として所得向上の考えは

本市は人口減少に直面しており、若年層のＵターンを促進する取組として、雇用者所得の向上が必要と考える。今後、産業や企業をどのように育成していくのか、市の考えを問う。

答弁 2 DXの推進により会社の経費削減を進めていく

児玉産業振興部長

現在、本市ではDXの推進による企業の生産性の向上やデジタルを活用した省力化により利益を向上させていくことが所得の向上につながると考えている。また国の施策や本市の補助金制度等をうまく活用してもらうことで、市内の中小企業の生産性の向上・効率化を促していきたいと考えている。



清友会

やす ざね おさむ
保実 治

動画



質問 1 不登校調査の見直しはどのように変わるのか

毎年実施される「問題行動・不登校調査」では、「無気力・不安」が要因の過半数を占めるなど、実態との隔たりが指摘されている。「いじめ被害」の項目に該当すると回答した割合が、学校側は子ども側より20%以上低い。学校が子どもの状況を十分把握できていない実態が浮き、重大ないじめを見逃している可能性もあると考えるがいかがか。

答弁 1 具体的な状況を数値化し段階分けして認識を共有していく

豊田教育部次長

子どもの思いと教職員の認識にずれがある場合もあると認識はしている。できるだけ子どもの率直な思いを把握できるように、学校でも複数の教員での対応や、こども応援センター、スクールカウンセラー、県教委等、関係機関とも連携しながら、正確な把握に努めていく。

不登校要因調査の主な内容（複数回答）

	学校側	子ども側
いじめ被害	4.2%	26.2%
教職員への反抗・反発	3.5%	35.9%
教職員とのトラブル・叱責	2.0%	16.7%
学業の不振	41.2%	47.0%
宿題ができていない	40.5%	50.0%
体調不良	18.5%	68.9%
不安・抑うつ	19.0%	76.5%

※文部科学省の委託調査
子どもの発達科学研究所調べ

質問 2 2000年の浄化槽法改正後の本市の現状は

法改正により単独型の新設が禁止され、生活排水も処理できる合併型への転換を促している。環境省は単独型について漏水が確認された場合は撤去対象とする新基準を導入する方針であるが、市の考えを伺う。

答弁 2 指導、助言とともに補助制度の案内をしている

上谷市民部長

浄化槽の設置及び管理等に関しては、県から権限移譲を受けている。該当案件があった場合は、まずは該当者への指導、助言とともに、補助制度の案内をする中で、合併処理浄化槽への転換等を促していきたいと考えている。



会派 未来

新田 真一

動画



質問 1 学校の働き方改革 持ち帰り業務調査の継続を

教職員の在校時間の減少は進んでいるが、自宅等への持ち帰りの業務が増加するなら改革は前進したとは言えない。初めて市による持ち帰りの調査が行われたが、今後も調査を継続し、超勤解消の取組を進めるべきと考えるが市の見解を伺う。

答弁 1 調査の中身、やり方の工夫も含めて検討していく

迫田教育長

学校の在校時間が減った一方で、持ち帰り業務が増加しているのかどうかは、今回の調査だけで判断はできないと考えている。調査の中身や、やり方を工夫したり、継続的にこの調査を進めていきながら、具体的な改善がどう図られているのか、変化がどうあるのかといったところを見定めつつ、働き方改革を具体的に進めていく。

質問 2 学校のあり方検討委員会の在り方は

この委員会の目的は、三次市全体を俯瞰し学校規模に限らず、よりよい教育環境について論議するところ。現在地域ごとに統合が議論されている。それを促進させることは目的が違うと考えるが市の見解を伺う。

答弁 2 よりよい教育環境を提供できるよう取り組んでいく

宮脇教育部長

学校の規模適正化のみならず、魅力ある学校づくりに向けて、学校の在り方を検討している。子どもたち一人一人に豊かな教育環境を保障するのが学校の第一の役割である。そこを重点的に考えながら、かつ幅広い意見も聞き、子どもたちにとってよりよい教育環境を提供できるかということを今後も検討していく。



よりよい教育環境の充実を



明日への風

増田 誠宏

動画



質問 1 河川の浚渫等をどのように進めていくのか

人口の集中する中心市街地は三川合流部であり、洪水リスクの高い地形である。河川管理については国の役割だが、安心安全のため、馬洗川等、河川の浚渫や樹木の伐採をどう進めていくのか。本市の認識と具体的にどのような要望を行っているのか。

答弁 1 予算獲得に向けた要望提案活動を行っている

福岡市長

今般の激甚化あるいは広域化する災害に向けた取組として、防災・減災に資する予算は必要不可欠であり、市長会を中心に、治水対策や道路等いろいろな面において、国に対し予算獲得に向けた要望提案活動を行っている。

答弁 1 一定の整備が行われたと認識している

濱口建設部長

平成30年7月豪雨の後、国と県、本市が連携して取組を行った畠敷地区内水対策事業において、馬洗川における樹木伐採や河道掘削が行われ、一定の整備がされたと認識している。経年による堆積土除去や樹木伐採の要望があれば、随時、河川管理者に伝えていく。

質問 2 巴峡三次かわまちづくり計画におけるキャンプ場等の整備の進め方は

キャンプ場の整備、観光遊覧船やカヤックの運行は、観光としては良い事業であるが、川を親しむ事業としては「江の川カヌー公園さくぎ」、「ハイヅカ湖のカヤック」がある。これらの施設と競合する可能性はないのか。調整や、すみ分けをどう図るのか。

答弁 2 計画に基づき、にぎわい創出を行う

福岡市長

かわまちづくりの全体像を示しているこの計画に基づいて、にぎわい創出を行い、観光消費額の拡大に向けた取組につながると考えている。河川を日頃から活用するといったことに取り組んでいくのが、共創にもつながってくると踏まえ、引き続き取組を進めていきたいと考えている。

答弁 2 施設間で連携を図り高め合える整備をしていく

濱口建設部長

事業実施に当たっては、市内の同様の他施設と連携を図り、競合しないよう調整を図りたいと考えている。調整や、すみ分けについては、先行する施設からアドバイスも受けながら、競合せず、高め合える整備にしたいと考えている。



日本共産党

伊藤 芳則

動画



質問
1

国保税のさらなる値上げになるのでは

国民健康保険税は県で準統一化をめざして値上げを続けてきた。今年度は国保財政調整基金の活用で9.98%の上昇にとどめたとしているが、基金が枯渇している状況で、来年度からの負担軽減のための対策はどのようなものか。

答弁
1

国・県へ引き続き財政支援を強く要望していく

上谷市民部長

国保の財政調整基金は、本市においては枯渇しており、県内の他の市町においても同様の状況となっている。市としては、安定的な財政運営が継続できるよう国保の制度設計自体の抜本的な見直しを含めて、財政支援も引き続き強く要望していきたいと考えている。



「国保のしおり」

質問
2

コメ不足対策が必要では

コメ不足による価格上昇で、新米はさらに上昇傾向にある。J Aひろしまのコシヒカリ1等米の概算金は8,500円（昨年は6,220円）である。わずかな需給の変化で価格が乱高下して農家や消費者は困惑することになる。何か対策が必要ではないか。

答弁
2

三次産米の消費拡大を呼びかけていく

児玉産業振興部長

国の施策等により急激な価格の上昇を防ぎつつ、消費者に対し、生産者コストに見合った再生産可能な適正価格への理解を醸成していく必要がある。また、市としては、関係機関と連携し、スマート農業の技術実証等を行い、作業の省力化、コスト削減などによる所得の向上を図るとともに、消費者に対しては、引き続き、広報等で三次産米の消費拡大を呼びかけていきたいと考えている。



公明党

片岡 宏文

動画



質問
1

スマート農業の導入支援はできているのか

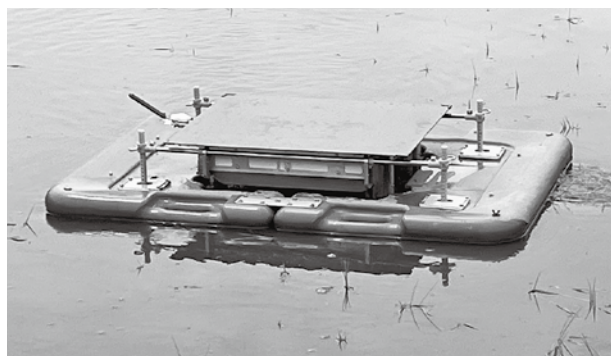
スマート農業は、生産性向上や労働力の省力化をめざして機械やソフトウェアが開発されている。まだまだ高価で導入に至っていない様に感じるが、本市の導入支援について伺う。

答弁
1

実証実験の検証等に基づき導入に向けた支援を検討していく

児玉産業振興部長

現在、導入支援としては、アスパラガスの環境制御システムや自動草刈りロボットに対して行っている。また今年度は、水稻栽培や有機栽培等における作業の省力化、効率化を図るため、ドローンによる水稻直播栽培や水田用自動給水機、水田用の自動抑草ロボットの実証実験を行っており、今後この効果の検証等に基づき、導入に向けた支援を検討していきたいと考えている。



雑草の出芽や生育を抑制する「アイガモロボット」

質問
2

地域計画の現在の進行状況は

農業経営基盤強化促進法が改正され、これまで「人・農地プラン」の取組として行ってきた地域の話し合いが、市町村の作成主体として法律に基づく取組となった。10年後の耕作者の計画を令和6年度末までに立てることになるが現在の進行状況を伺う。

答弁
2

計画的に進めている

児玉産業振興部長

現在、市全域を34の地区に分けて策定を進めており、2地区は策定済みである。残り32地区のうち、30地区でアンケート調査を実施済みであるが、22地区が調査結果を入力中で、8地区は既に完了している。完了したものから順次、目標地図の作成等を進めていきたいと考えている。



三輝会

ゆみ かけ げん
弓掛 元

動画

質問
1

レールマウンテンバイクの延長は

旧ＪＲ三江線尾関山駅レールマウンテンバイクは開業以来、県内外から多くの観光客を集めている。現状、運行距離の短さがネックであり、鉄橋も含めた運行区間の延長が不可欠である。三次のにぎわい創出のためにも延長が必要と考えるがいかがか。

答弁
1

情報収集をしながら慎重に検討する必要がある

笹岡経営企画部長

現在の運行区間は、本市がＪＲ西日本から譲渡を受けた区間で運行されており、本年３月から本格運用が始まったところである。施設所有者であるＪＲ西日本が架橋等の撤去に取り組まれていることから、今後のＪＲ西日本の動向も踏まえて、慎重に検討する必要があると考えている。



レールマウンテンバイク

質問
2

地域交通の刷新は

路線バスは市民ニーズに合っておらず、利用が少ない状況にある。国も地域交通のり・デザインを提案しており、タクシー活用にシフトチェンジすべきと考える。タクシーの夜間営業停止を防ぐためにも早急な刷新が必要であると考えているがいかがか。

答弁
2

持続可能な公共交通を構築していきたい

矢野地域共創部長

タクシードライバーの高齢化や地元にタクシー会社がないなど課題もある。全国では様々な取組事例があり、本市にどのような交通体系がマッチするのかを現在研究をしている。引き続き、運行事業者とも協議を行い、新しい取組を参考にしながら、持続可能な公共交通を構築していきたいと考えている。



真正会

すず き み ゆ き
鈴木 深由希

動画

質問
1

インクルーシブ教育システムの推進は

障害の有無、国籍や人種など様々な違いや課題を超え、全ての子どもたちが同じ環境で一緒に学ぶ「インクルーシブ教育システム」は、個性や価値観を受け入れる心を育む教育現場において、個々の課題に対応する指導力が求められることから、専門性の高い教職員の育成を図るべきではないか。

答弁
1

専門的な技術を身につける研修に取り組んでいる

迫田教育長

教職員が適切な支援を行うためには、一定の研修が必要であると考えている。

障害の種類や特性、対応方法についての基礎的知識に関する内容を始めとして、実際に授業の参観をするといった研修も取り入れながら、一人一人の子どもの実態に応じた指導や支援の方法についての研修を行っている。

質問
2

学校行事で地域住民と保護者のコミュニケーションを

「学校を核とした地域づくり」、「地域とともにある学校づくり」をめざすため、小中学校の行事、特に防災教室など保護者、地域住民が児童生徒と共に学ぶ機会を設けてはどうか。

答弁
2

コミュニティスクールの導入に力を入れていく

迫田教育長

現在進めているコミュニティスクールの中で地域住民としてだけでなく、自分事として子どもと一緒に育てていくということに主体的に参画してもらうことを大いに期待しており、市としてもしっかり取り組んでいく。

答弁
2

地域にとって重要な取組だと考えている

福岡市長

防災教育を通じて地域の一体感を作っていくことは重要であり、いろいろな遊びや学び、楽しさを通じながら防災・減災にしっかりとつながっていくように、市としても様々な取組や思い、考えを自治連合会や地域住民と共有していきたいと考えている。



三輝会

ふじ い けん いち ろう
藤井 憲一郎

動画



質問
1

介護人材の確保・定着へアイデアを

「三次市介護事業所人材育成等支援事業補助金」は、介護人材の確保・定着を目的に予算化されているが、年々予算額が減っている。外国人の介護職員の日本語を学ぶ研修、教材やオンライン講座などのツールに対する費用にも要件を広げられないか。

答弁
1

事業者からの意見も聞きながら検討していく

影山福祉保健部長

技能実習のために来日している外国人で、在留資格を特定技能や介護に移行したいという希望がある場合に、日本語能力を高めるために受講する研修を補助対象に加えることについては、技能実習生を現在受け入れている事業者からの意見も聞きながら検討していきたいと考えている。

質問
2

三次ケーブルビジョンの経営に対する考えは

ピオネットの自主製作番組や防災情報、行政情報番組はなくてはならないものとなっているが、設備更新費用に毎年2億円規模が投入されている。財源は過疎対策事業債であるが、令和12年度には失効となる。その後の財源見通しは。

また、総務省は民設民営化を支援する政策を打ち出しているが、考えは。

答弁
2

新たな補助制度の創設や過疎債の継続の要望を行っている

東山情報政策監

電気通信設備に係る国の補助制度は幾つかあるが、いずれも目的が限定されており、過疎債のように一般的な設備更新を対象とすることができない。そのため新たな補助制度の創設や過疎債の継続の要望を行っているが、現時点では令和13年度以降、同じ条件で活用できる財源は存在しない状況である。

総務省が民設民営化を支援し、県内でも既に事例があることは承知している。今後どういった可能性があるか、調査検討していく。



市議会トピックスの収録



三輝会

つき はし かず ふみ
月橋 寿文

動画



質問
1

防犯カメラ設置への支援は

防犯カメラは、犯罪抑止や証拠撮影、また行方不明者の捜索にも有効と考えるが、市で全て負担していくのは費用がかかる。市の設置数を減らし、駅前、公園、広場、交差点などに近い店舗や自治会向けに設置補助金を出してはどうか。

答弁
1

現時点では考えていない

山田危機管理監

市が防犯カメラの設置に補助を行う場合、防犯灯と同様、公共空間が撮影されるということが前提となると考える。プライバシーに関する懸念、地域や近隣の住民合意の必要性といった様々な課題もあることから、現時点では補助制度は考えていない。



三次市設置の防犯カメラ

質問
2

ひとり親家庭への学習支援は

どこに住んでいても、どんな家庭でも、子どもたち一人一人がしっかり学べる環境が必要である。県では月に2回程度、宿題やドリルを見てもらえる取組を行っているが、市ではひとり親家庭の子どもにどのような支援が良いと考えているのか。

答弁
2

持続可能な方法等を検討していきたい

松長子育て支援部長

県の事業として子供の学習支援事業が本市の会場でも実施されているが、その実施状況等も確認しながら市独自事業としてどのような支援が実施できるのか、持続可能な方法等を検討していきたいと考えている。また今年度策定予定である「三次市こども計画」の中でも、学習支援に関する方向性を盛り込んでいきたいと考えている。

広報広聴常任委員会 行政視察レポート

兵庫県丹波市・奈良県王寺町

8月8日（木）～9日（金）、「読んでもらえる議会だより」の編集における取組を学ぶため、2つの自治体で行政視察を行いました。



丹波市議会では「読んでみたくなる作戦会議」として、高校生による読者モニター会議（読モ会議）を実施されており、高校生ならではの自由な発想と鋭い感性で、議会を市民にわかりやすく伝える方法を議員と一緒に考えています。

また王寺町議会では、令和5年8月発行の議会だよりから大幅なりニューアルをされ、「あなたと議会をつなぐガイドブック」をコンセプトに、「町民の参加」、「脱・報告書」、「読みやすいレイアウト」、「文字を少なく写真を多く」を編集方針として設定するなど、手に取ってもらえる紙面づくりに取り組んでおられます。

今回学んだ取組は、本委員会で振り返りをし、今後の紙面づくりに生かして参ります。

（委員長 重信 好範）

教育民生常任委員会 行政視察レポート

愛知県みよし市・豊田市・瀬戸市

10月9日（水）～11日（金）、「子育て施策・小中一貫校」における取組事例を学ぶため、3つの自治体で行政視察を行いました。

みよし市と豊田市の子育て施策を学びました。みよし市では「オムツのサブスク事業」、「保育所、小中学校給食費無償化事業」、「大学生等入院費支給事業」など、切れ目のない子育て支援に取り組まれています。また豊田市では「豊田市子ども条例」を策定されており、弁護士や臨床心理士などが子どもの権利侵害について救済する「子どもの権利相談室」の設置や、子どもの意見表明や社会参加の場として「豊田市こども会議」を開催されるなど、子どもにやさしいまちづくりを推進されています。

瀬戸市では、令和2年4月に開校した「にじの丘学園」を見学しました。5つの小学校と2つの中学校を統合した1,000人規模の施設一体型小中一貫校で、開放的な高い天井と広い廊下、愛知県産木材をふんだんに使用した温もりのある校舎となっています。教育目標は「学び、つながり、挑戦する9年間」。子どもたち同士の交流や教職員などの連携・協働に重点を置き、多様な教育活動に取り組まれています。

本委員会としても今回学んだ取組を委員間で共有し、今後の審査・調査の参考とさせていただきます。

（委員長 新田 真一）



産業建設常任委員会 行政視察レポート

埼玉県飯能市・神奈川県秦野市

10月9日（水）～10日（木）、「鳥獣被害防止対策」について、2つの自治体で行政視察を行いました。

飯能市では、効果的な鳥獣対策と担当者の負担軽減のため、市役所農業振興課内へ鳥獣被害対策室を設置し、市職員による鳥獣被害対策隊、市職員や猟友会員による実施隊や鳥獣対策普及員を設置し、きめ細かい対応を行うための体制を確立しています。

秦野市では、ドローンを活用して被害対策地図を作成し、地域ごとの課題を可視化し、地図の活用により、地域ごとの課題に合わせた対策を実施しています。また、市職員やJA職員等から成る、はだの都市農業支援センターを設置し、鳥獣対策を含め、担い手育成、農地の保全など農業支援に関する窓口を一本化して取組を行っています。

今回、学んだことについては、議会全体へ報告し、委員会の政策提言につなげていけるよう取り組んで参ります。
（委員長 鈴木 深由希）



議会のうごき

2024（令和6）年8月1日～10月31日

8月

- 6日 産業建設常任委員会、総務常任委員会
- 7日 教育民生常任委員会、北部ブロック議員研修会
- 8日～9日 広報広聴常任委員会行政視察
- 19日 広報広聴常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 産業建設常任委員会、議会活性化等検討特別委員会
- 26日 総務常任委員会
- 28日 市議会トピックス（広報広聴常任委員会）
- 29日 議会運営委員会
- 30日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、全員協議会、広報広聴常任委員会

9月

- 2日～4日 9月定例会本会議（一般質問）
- 5日 3常任委員会（議案の調査研究）
- 6日 教育民生常任委員会
- 9日 産業建設常任委員会
- 10日 総務常任委員会
- 11日～18日 予算決算常任委員会
- 19日 予算決算常任委員会、議会運営委員会
- 20日 予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 24日 予算決算常任委員会
- 25日 市議会トピックス（総務常任委員会）
- 26日 議会運営委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会

10月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 議会活性化等検討特別委員会
- 7日 教育民生常任委員会
- 8日～10日 産業建設常任委員会行政視察
- 9日～11日 教育民生常任委員会行政視察
- 16日 広報広聴常任委員会
- 16日～18日 議会運営委員会行政視察
- 22日 広報広聴常任委員会
- 21日～23日 総務常任委員会行政視察
- 23日 市議会トピックス（教育民生常任委員会）
- 24日 産業建設常任委員会
- 28日 議会活性化等検討特別委員会
- 29日 議会運営委員会

行政視察受入状況

- 8月1日 広島県広島市議会（女性起業家への支援について）
- 19日 山口県美祢市議会（奥田元宋・小由女美術館の設立経緯などについて）
- 22日 広島県府中市議会（JR三次駅等整備事業について）
- 広島県江田島市議会（議会及び委員会の運営方法について）
- 10月9日 宮城県気仙沼市議会（備北メディカルネットワークについて）
- 11日 福井県勝山市議会（三次版スマートシティ構想について）
- 22日 山口県萩市議会（三次アントレーヌ認定制度について他）
- 23日 福島県田村市議会（一般社団法人三次観光推進機構について）
- 24日 福岡県小郡市議会（内水対策事業について）
- 29日 京都府京丹波市議会（川西郷の駅について）

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

【発表事項】

- 1 令和6年9月定例会の総括
- (1) 決算審査について
- 2 傍聴席字幕モニターの試行について





次回の定例会は**11月29日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、**11月18日(月) 正午まで**

請願・陳情 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

いいね
みよし

広報広聴常任委員が市内で撮影した、
お気に入りの1枚をご紹介します



十日市文化祭

十日市文化祭



大力ふれあい夕涼み会(三和町)



みわふるさと元気まつり(三和町)



神楽と世界の
フードフェス
(川西小学校)

あ と が き

夏休み中に地域の皆さんと小学生との触れ合いの場に参加させていただきました。

各地域で、地域の活性化に向け、様々な取り組みをされています。

9月議会では、そういった地域の取組や、安心した暮らしの基盤となる予算執行について、適切で効果的であるかの「決算審査」を行いました。

三次市議会は、「市民にとって身近な存在」となることをめざしています。

そのためには、市民の皆さんの声が必要です。ご意見はお気軽に議員へお届けください。

(竹田 恵)



注目スポット

東酒屋の褶曲

この褶曲は東酒屋町松尾の北東に通じる道路に沿って見られ、地層は新第三紀中新地備北群(海成層)上部層(1,000万年前)です。頁岩細粒石の薄い層が互いに積み重なってできており、色々な褶曲構造を示しています。三次地方の成り立ちや地質の歴史を知ることができますので、ぜひ一度訪れてみてください。(國重 清隆)

・所在地 三次市東酒屋町大久保

※褶曲…地層や岩石が地殻変動によって押されて波のように曲がった構造のこと。

